

主や文化体感 人気

と旅館を発表。約1万8千軒の登録施設から、外国人による口コミの数や評価内容を基にホテル、旅館でそれぞれ上位20軒を選んだ。

県内ホテルでは、ともに白馬村の「ホテルシエラリゾート白馬」「アクアアルパインホテル」が選ばれ、旅館では、木曽郡南木曽町の「旅館藤乙」のほか、海外で有名な地獄谷野猿公苑がある下高井郡山ノ内町から「茶のみち美湯の宿」「湯田中温泉清風荘」「洗心館松屋」「島屋旅館」の4軒が選出された。

このうち、洗心館松屋は13年、約1200人の外国人が宿泊。09年の74人から急増しており、体格の良い外国人に合わせたサイズの浴衣やげたを増やすなどして対応している。スタッフは英語が得意ではないが、おかみの児玉恵子さんは「おもてなしの気持

ちが通じれば片言の英語でもコミュニケーションは十分できる」と話す。

湯田中温泉 清風荘も冬季の宿泊客はほぼ全員が外国人となる。5、6人の従業員は英語が堪能ではないが、予約客には事前に英文メールで部屋にトイレが付いていないこと、カード決済できないこと、カード決済できない

こと、英語はあまり通ないことが多いなどを伝えているといふ。

若主人の大関松男さんは「不便なことも事前に説明する」として、当日のトラブルを回避できる」と説明。外国人が重視する無料の公衆無線LANサービス、Wi-Fi(ワイファイ)の整備に力を入れており、「自分たちにできること、できないことを分けて対応している」と話している。

市は昨年6月、企業誘致のため、駅周辺に商業施設を建て、市民を雇用する事業者に、賃料や固定資産税などを一定期間免除する条例を制定。条例に基づき、市は日本リゾートシステムの10年間の賃料を無料とする。

飯山駅周辺では、ツルヤ(小諸市)もスーパーの出店を決めている。

「計画を綿密にすると妄想が構想に変わる。どう数字に落としこむかが重要」。九条ネギを生産販売する農業生産法人こと京都(京都市)の山田敏之社長(52)は20日、長野市内で県信連(長野市)主催の若手農業者向け金融セミナーで講演し、自社の成長の歩みを話した。

きょうの人こと

農業生産法人こと京都社長

やまだ
敏之
さん



綿密さで妄想が構想に

まず売上高1億円を目指して20年前に就農。京野菜の九条ネギに特化し、有名ラーメン店に飛び込み営業もして販路を広げた。自己満足に陥らず、「自社が日本の中でどんな位置にいるか、現状を客観的に分析することが重要」とした。現在は売上高15億円を目指して掲げている。

参加した若手農家には、「経営に不安があれば、不安なままでせず、こうすれば大丈夫だと自分が納得できるまで方法を探すしかない」と助言した。